

公益財団法人 国際親善協会

平成 22 年度事業

平成 22 年度の事業は、以下の 2 件である。

1) 「第 35 回ジャパンウィーク 2010 年ポルトガル・ポルト」 主催

期 間：2010 年 11 月 20 日～11 月 25 日

開催地：ポルトガル・ポルト

2) 「ザ・フレンドシップ・フォース」活動支援事業

期 間：通年

対 象：全国各フレンドシップフォースクラブ

1) 第35回ジャパンウィーク2010年ポルトガル・ポルト

開催概要

1. 開催地 : ポルトガル共和国・ポルト市
2. 開催期間 : 2010年11月20日(土)～25日(木) 6日間
3. 開催規模 : 日本側参加者 920人
4. 現地側参加 : 見学者16,000人
5. 主催 : 公益財団法人 国際親善協会
6. 開催国側主催 : ポルトガル共和国・ポルト市
7. 後援 : 在リスボン日本国大使館、経済産業省、国土交通省、文部科学省、在日ポルトガル大使館、ポルトガル政府観光局、日本政府観光局(JNTO)、独立行政法人国際交流基金、日本貿易振興機構(ジェトロ)、財団法人自治体国際化協会、財団法人地域伝統芸能活用センター、社団法人日本海外協会、社団法人日本ポルトガル協会
8. 助成 : 財団法人双日国際交流財団
9. 協賛 : 日本航空、日本興亜損害保険株式会社、株式会社みずほコーポレート銀行、西日本旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、株式会社日本旅行
10. 目的 : 「ジャパンウィーク®」は、日本の生活文化、芸能、美術、音楽、ファッション、スポーツ、経済等を通じて日本を紹介するとともに、開催地住民も参加し、市民レベルの文化交流により、相互理解・友好親善を図る。
この「ジャパンウィーク®」は、各会場での公演、展示、実演などによって構成されているが、一方通行の文化紹介にとどまることのないよう、開催地の人々の参加を促し、心と心がふれあう交流を実現できるワークショップ等のプログラムづくりにも力を入れている点にその特徴がある。

参 加 団 体 一 覧

青森県	・ 自然食レストラン 洋望荘 ／野菜細工	和歌山県	・ スタジオぽこ・あ・ぽこ ／タップダンス
山形県	・ 米沢藩古式砲術保存会／火縄銃	岡山県	・ 備州岡山城鉄砲隊／鉄砲隊
栃木県	・ 津軽三味線貢清世会／津軽三味線 ・ 茶道文化継承和育いちご会・日光会 ／茶道	島根県	・ さだ 須佐太鼓団／和大鼓
埼玉県	・ 世界盆踊り連／盆踊り	長崎県	・ 長崎市／写真展 ・ 長崎大学／表敬訪問 ・ 長崎いけばな連盟／華道 ・ 長崎県立長崎東高等学校 吹奏楽部 ／吹奏楽
東京都	・ ㈱アートクロス／美術品 ・ ㈱OPA 北村温子／七宝焼き ・ きものレディ着付学院／着物 ・ 剣伎衆かむろ／剣伎 ・ ㈱書道ジャーナル研究所／書道 ・ 全日本婚礼美容家協会／婚礼衣装 ・ 早稲田大学書道会／書道	熊本県	・ 天草市・社団法人天草宝島観光協会 ／盆踊り
富山県	・ 瀬尾学園 総合カレッジ SEO ／琴・料理・茶道	鹿児島県	・ 2010 年ポルトガル親善使節団 (種子島火縄銃保存会)／火縄銃
岐阜県	・ CENTRE DE DANSE DE OGAKI ／バレエ	ポルト市	・ ポルト日本語補習校 ・ Academia De Danças E Cantares Do Norte De Portugal ・ Drumming Grupo de Percussão ・ Kendo Clube do Porto ・ ESMAE ・ Academia Pirmin Treku ・ ポルトガル MOA 財団 (Fundação MOA de Portugal) ・ Ms. Benvinda Fraga ・ ARTEAR ・ Academia Contemporanea do Espectacule
愛知県	・ 中部きもの研究会／ 着物 ・ 草木染工房しかり／染物 ・ 愛知県古銃研究会長篠設楽原鉄砲隊 ／火縄銃	見学団体	・ 社団法人日本ポルトガル協会 ・ 長崎名誉領事派遣団 ・ ジャパンウィーク®海外セミナー
静岡県	・ 浜松花蝶ちん／ちんどん ・ オカリーナ・デュオ／オカリナ ・ 松濤流／いけばな ・ 煎茶道静風流／煎茶道		
滋賀県	・ 京都美山詩画集／詩画集		
京都府	・ ポルトガル刺繍・糸のパッチワーク ／刺繍 ・ 京都光華高等学校 神楽和大鼓部 ／神楽太鼓 ・ 京都造形芸術大学 瓜生山舞子連中 ／神楽		
奈良県	・ 花柳アカデミー／日本舞踊		
大阪府	・ 西日本友好親善訪問団／交流		

合計 48 団体

<事業の実施概要>

1. ジャパンウィーク®運営組織について

当事業は日本・ポルトガル両国に各々実行委員会を組織し、日本側は愛知和男／公益財団法人国際親善協会会長が実行委員長を務め、ポルトガル側はルイ・リウ ポルト市長を実行委員長とし、両国事務局互いの協力のもと、開催会場・施設の決定や告知PR活動・イベントの取り纏めなどを推し進めた。特に開催会場・施設については各実施予定プログラムの主旨をポルト市に理解していただき、主なイベント会場を市の中心部にご用意頂いた。日本より都合5回にわたる現地打合せ、電話および電子メールでの情報交換・諸々の折衝を行い相互の協力体制を着々と築き上げ成功へのステップを確実なものにして行った。

日本側では2009年の夏より全国に招致活動・告知活動を開始し、並行して関係資料の作成・説明会の実施などを行い、参加団体応募の後は各団体と参加プログラム、荷物の輸送の打合せ、各公式行事やイベントプログラムのアレンジなど数多くの業務をこなしてきた。

2. 広報・告知について

現地側広報・告知に関しては、ポルト市、ポルト市観光局そしてコーディネーターの皆様にご協力いただいたおかげで観客動員ができた。下記が関係各機関にご協力いただいた広報・告知活動である。

(1) メディアでのプロモーション

ウェブサイト、新聞を中心としたPR展開を実施していただいた

① ポルト市のウェブサイト

ポルト市のウェブサイト、当協会のウェブサイトをリンクすることも含めてPRいただいた。

② 雑誌、新聞

ポルト市発行の雑誌「PORTO sempre」の7月号、同じく文化情報イベント冊子「i Porto」の10月号のイベント情報欄にはジャパンウィーク®の予告の記事が掲載され、雑誌Notícias Sábadoの2010年11月号とJardinsの2011年1月号には、ジャパンウィーク®期間中の料理交流の記事が掲載された。新聞については、ポルトの新聞JOURNAL DE NOTÍCIAS VIVA+およびmaiahojeがジャパンウィーク®期間中のイベントの記事を掲載していただいた。

③ テレビ

<TV Porto><Porto Canal><RTP (国営チャンネル)>にて11月1日～7日までの間、夕方～夜にかけてジャパンウィーク®の告知がなされた。また、ジャパンウィーク®開催後、展示会場には<TV Porto>等の取材があった。

(2) PRツール作成およびその配布

下記は、11月第1週からポルト市内にて展開された。

- | | |
|-------------------------------|---------|
| ① 告知用リーフレット (A4 サイズ) | 15,000枚 |
| ② イベントプログラム (15cm×21cm) | 5,000部 |
| ③ 街中での告知用巨大ポスター (8m×3m) | 12箇所 |
| ④ 街中での告知用ボード | 80箇所 |
| ⑤ ポルトの学校、子供たちに配布のステッカー | 10,000枚 |
| ⑥ 街中での電子ビデオボード | 4箇所 |
| ⑦ ポルト市内運行のバス、列車の内側でのポスターによるPR | |
| ・バスの内側 | 200枚 |
| ・列車の内側 | 200枚 |

3. イベントプログラムについて

ジャパンウィーク®の大きなテーマは「双方向の交流」であるが、日本側のみの参加だけでなく舞台公演、展示・実演についてポルト側からの団体にも参加していただき、出演者、展示者間の交流が深まるようイベント作りをした。

イベントは11月20日（土）の午後にロザ・モタ・パビリオンにてオープニング・フェスティバルが開催されジャパンウィーク®の幕があけた。その後、ポルト市庁舎でのオープニング・レセプション、リボリ劇場での舞台公演と続いた。舞台公演は23日（火）を除く25日（木）まで毎日開催された。展示・実演は21日（日）の展示スターティング・セレモニーに始まり、25日（木）まで実施された。

交流プログラムの学校訪問については6団体、老人ホームについては4団体が参加し、音楽交流プログラム、舞踊交流プログラム、バレエ交流プログラム、草木染交流プログラム、刺繍交流プログラム、料理交流プログラムにはそれぞれ1団体ずつ参加し、各団体ともに肌と肌をふれあう心のこもった草の根交流に大感激していた。

毎年参加いただいている西日本友好親善訪問団は、交流会イベント、鉄道シンポジウムおよびポルトナイトにて大いに親善交流の輪を広げて貰った。

4. 在ポルトガル日本国大使館のご協力とボランティアの活躍

特に今回のジャパンウィーク®が大盛況に終えることができたのは一重に公式プログラムにご臨席をいただいた在ポルトガル日本国大使館の四宮大使をはじめ大使館の皆様のご協力による賜物である。

今回も数多くのボランティアの方々に協力して頂いた。ボランティアについては、ポルト在住のポルトガル人学生、日本人留学生、在留邦人など幅広い方々にご協力いただいた。ジャパンウィーク®・スタッフの一員として朝早くから夜遅くまで本当に頑張っていた。ボランティアの方々の協力無くして、ジャパンウィーク®の成功はありえなかったと言っても過言ではない。

5. ポルトにおけるスタッフおよびご協力いただいた方々の活躍

ポルトでのジャパンウィーク®開催が決定してからイベントが終了するまで、下記の方々は、実務上のきめこまやかな打合せと準備で大変ご協力いただき、今回のジャパンウィーク®を成功へと導いた。

コーディネーター 袖林 優子

サブコーディネーター 小野 由美子

ポルト市 Mr. Manuel de Novaes Cabral／ポルト市長室長

Ms. Inês Ferreira／ポルト市ソーシャル連絡調整課補佐

Ms. Marta Barbosa／ポルト市国際課・プロトコール担当

Mr. João Paulo Cunha／ポルト市国際課・プロトコールチーフ

Mr. Nuno Varela Guerra／ポルト市国際課・プロトコール担当

火縄銃関係 Ms. Sónia Ferreira

／Associação Portuguesa de Coleccionadores de Armas (APCA)

Dr. Luis Moura

／Associação Portuguesa de Coleccionadores de Armas (APCA) 会長

須川 薫雄様／日本前装銃射撃連盟 副会長

ザ・フレンドシップ・フォース活動支援事業

2010年度事業

1. 事業名 : フレンドシップ・フォース (略称: FF) 活動支援事業
2. 事業内容 :
 - a. 日本のクラブと本部 (アトランタ) との連絡事務補助・翻訳
 - b. 日本のクラブの相互交流支援
 - c. 新クラブの設立支援
 - d. 宣伝等包括的対外活動
3. クラブ総数(日本国内) : 24クラブ
会員数 約1,500人
4. 日本のクラブの交換 (2008年) :
 - a. 受入交換 20 (279人来日)

参加国・・・オーストラリア、アメリカ、イギリス、ニュージーランド、カナダ、ドイツ、ブラジル、エジプト、ベラルーシ、スイス、ニューカレドニア、エストニア、スウェーデン、トルコ
 - b. 渡航交換 24 (358人渡航)

訪問国・・・アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、ニュージーランド、オランダ、ドイツ、カナダ、ロシア、コスタリカ、ベルギー、トルコ、フランス、台湾、スロバキア
5. 大会
 - 1) 日本大会

日時 : 2010年2月28、29日
於 : 奈良クラブ、奈良市
 - 2) 世界大会

日時 : 2010年10月15日～18日
於 : アメリカ、ワシントンD. C.
参加者 : 30カ国より498名参加
日本よりの参加者 31名

2010年渡航一覧

担当クラブ	交換No.	日程	訪問クラブ名	人数	ED
愛知	10050	4/21-	Greater Hamilton/Burlington, Canada	18	堀 夏江
東京	10305	4/13-	Alajuela, Costa Rica	19	西岡 光世
鳥取	10308	6/23-	Flanders, Belgium	17	長谷川 紀子
熊本	10337	6/10-	Orange County, USA	15	広瀬 和彦
西東京・山口	10179	5/18-	Bratislava, Slovakia	18	高垣 孝
愛媛	10107	5/25-	Brussels-Pajot, Belgium County Durham, UK	13	峯 洋子
長崎	10019	5/14-	Greater Izumir, Turkey	9	松下 みち子
広島	10115	5/20-	Leicestershire, UK	13	たけうちせいじ
東京	10199	5/31-	Biarritz, France	19	河原 ゆきこ
札幌	10118	6/18-	Ankara, Turkey	18	佐藤 紀子
岐阜	10113	6/15-	Ceder Lapid, USA	19	松原 けいこ
大阪	10022	7/27-	Cairns, North Moreton, Australia	17	森本 吉彦
静岡	10225	9/05-	Somerset, UK	10	鈴木 美津子
愛知	10104	10/01-	Noord, Netherlands	18	加藤 紀子
郡山	10116	7/26-	Minnesota-Twin Cities, USA	10	縫 洋子
太田群馬	10290	9/03-	Cottbus, Germany	15	坂庭 克之
埼玉	10714	10/01-	Dubuque, Iowa & Oregon Midwillamette, OL USA	16	池田 完之
埼玉	10298	9/08-	Oklahoma to Netherlands East	9	
宮城・大分	10233	9/9-	Penticton-Okanagan, Canada	10	五嶋 幸子
奈良	10232	8/23-	Moscow, Russia	19	山足 和生
東京	10338	9/9-	Lincoln, & Pike's Peak Region, USA	21	仙石 和子
山形・京都福知山	10110	9/20-	Winnipeg, Canada	18	阿部 静子
福岡	10112	10/22-	Taichung, Taiwan	17	宗広 はつこ
三重		9月	Ottawa, Canada		キャンセル
合計				358	

2010年受入一覧

受入クラブ名	交換No.	日程	担当クラブ	人数	ED
Tamworth & Kempsey, Australia	10313	3/25-	大阪 China	15	大下すみ子
Penticton-Okanagan, Canada	10106	4/16- 4/01-	愛媛 2週目 埼玉 1週目	18	有光 かよ 岸田正二郎
Herne, Germany	10117	4月	熊本 Taipei		キャンセル
Taupo, New Zealand	10111	3/29-	静岡 1週目 福岡 2週目	17	小池 明子 帆足ひろゆき
Edmonton and area, Canada	10045	5月	大分 奈良		キャンセル
Bela Horizonte, Brazil	10151	3/26- 4/05-	東京 奈良	20	郡谷 紀子
Cairo, Egypt	10103	4/07-	愛知 1週目 郡山 2週目	18	土居 陽子
Manawatu, New Zealand	10109	5月	山形 京都福知山		キャンセル
Minsk, Belarus	10266	10/03-	長崎 熊本	17	
Addelaide, Australia	10311	9/15-	新潟 Tucson-Southern Arizona Greater Des Moines, USA	23	
Causeway Coast, UK	10119	10/01-	鳥取 札幌 Sydney, Australia	18	
Solothurn, Switzerland	10347	10/10- 10/02-	東京 2週目 愛知 1週目	13	安達きょうこ 谷川智恵子
Noumea, New Caledonia	10345	6/05-	宮城	11	松浦信子
Medicine Hat, Canada	10114	10/14-	岐阜 広島	21	岩田きょうこ
Tallinn, Estonia	10257	10/23-	西東京	17	虫明陽子
Cankaya, Turkey	10166	11/06-	山口 大阪	16	
Honolulu, USA	10108	10/12-	愛媛 慶州、韓国		キャンセル
Luebeck, Germany	10097	11/04-	太田群馬	20	
Helsingborg, Sweden	10357	11/01-	東京 三重	19	
Belo Horizonte, Brazil	10696	11/25-	大分 京都福知山	16	
合計・交換数				279	